

向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針(案)に対する 意見の募集について<パブリックコメント>

○ 意見募集期間

令和8年5月11日(月)～令和8年6月10日(水)

※郵送の場合は、締切日の消印有効です。持参の場合は、令和8年6月10日(水)17時15分までとします。

○ 閲覧場所及び配布場所

川崎市ホームページ、各区役所(市政資料コーナー)、かわさき情報プラザ(川崎市役所本庁舎復元棟2階、支所・出張所・図書館(本館・分館)、市民館(本館・分館)、教育文化会館、まちづくり局登戸区画整理事務所

○ 意見書の提出方法

① 郵送 〒214-0014

川崎市多摩区登戸1891番地1 第3井出ビル4階
川崎市まちづくり局登戸区画整理事務所

② 持参 まちづくり局登戸区画整理事務所

③ FAX 044-933-3881(まちづくり局登戸区画整理事務所) (川崎市ホームページ)

④ インターネット入力フォーム

インターネットで川崎市ホームページにアクセスし、パブリックコメントの専用ページから、専用のフォームを使って所定の方法により送信してください。



↑ご意見はこちら

※1 意見書の書式は自由ですが、必ず「**題名**」、「**氏名**(法人又は団体の場合は、名称及び代表者の氏名)」及び「**連絡先**(電話番号、FAX番号、メールアドレス又は住所)」を明記してください。

※2 **電話による意見等は受け付けておりませんので御了承ください。**

※3 御意見に対する個別の対応はいたしません。類似の内容を整理又は要約した上で、本市の考え方を整理した結果をホームページ等で公表する予定です。

○ オープンハウス型市民説明会(予約不要)

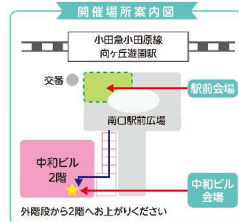
みなさまの御意見や御質問などをお伺いするため、オープンハウス型市民説明会を開催します。本説明会は、会場に、説明用パネルの展示を行い、職員などがみなさまからの御意見や御質問にお答えします。どなたでも参加いただけます。また、入退場自由ですので、ぜひお気軽にお立ちください。

○ 開催日

令和8年5月27日(水) 15時から20時まで
令和8年5月31日(日) 10時から15時まで

○ 開催場所

5月27日(水) 中和ビル2階(多摩区登戸2723)
5月31日(日) 向ヶ丘遊園駅南口駅前広場(第3回えきまえ遊園パーク開催予定)



【問合せ先】 川崎市まちづくり局登戸区画整理事務所

メール：50nobori@city.kawasaki.jp 電話：044-933-8511 FAX：044-934-3881

向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針(案) について御意見をお聞かせください



第1回 えきまえ遊園パークの様子



第2回 えきまえ遊園パークの様子

意見募集期間：令和8年5月11日(月)～令和8年6月10日(水)

本地区における民間の土地利用転換の機会を捉え、地域資源を活かした賑わいの創出や交通環境の課題改善に向けて、ビジョンの将来像等を具体化した基本的な方向性を示し、生田緑地の玄関口にふさわしい“緑に包まれた”駅前空間の創出等を官民連携により推進していく、向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針の策定に向けた検討を進めています。

この度、向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針(案)をとりまとめましたので、市民のみなさまからの御意見を募集します。

向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針の構成

- 1 はじめに
- 2 向ヶ丘遊園駅南側の現況
- 3 まちづくりの基本方針
- 4 方針図(駅前空間ゾーニングイメージ)
- 5 今後のスケジュール



↑ご意見はこちら
(川崎市ホームページ)

⇒ 中面に抜粋して掲載しています。開いてご覧ください。

向ヶ丘遊園駅南側まちづくり方針(案)の概要

まちづくりの基本方針

めざす駅前空間 **ひとつもりのえきまち**

自然豊かな緑に包まれ、人と人がつながり、このまちに住み続けたい

生田緑地の玄関口にふさわしい“緑に包まれた”駅前空間

- 地域資源を活かした居心地の良い、人中心の広場空間の創出
- 生田緑地や多摩川など周辺の自然資源をつなぐ緑のネットワークの形成
- 周辺の駅前広場と機能連携を図った交通環境の形成



人中心の広場空間イメージ
(流山おおたかの森駅)



民家園通り商店会夏まつり
(出典：民家園通り商店会HP)



緑の豊かな緑道イメージ
(立川グリーンズプリングス)

大学を活かした“人と人をつなげる”交流拠点

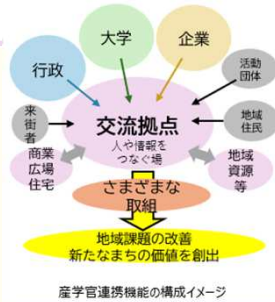
- 新たなまちの価値創出に向けた産学官連携の仕組みづくり
- 地域の魅力向上と愛着を育む交流拠点の創出



業種を超えた多様な交流拠点
(フレキシブルオフィス WeWork) (出典：WeWork)



街の生活者と共にプロジェクトを創造
(柏の葉リビングラボ) (出典：UDCK)



多世代が“向ヶ丘遊園”に“住み続けたい”と思える住環境

- 生活者のニーズに合わせた暮らし方を受け入れる多様な住宅機能の導入
- 安全で安心なゆとりあるウォーカブルな歩行空間の創出
- 地域の防災力の向上や環境配慮につながる機能の導入



歩行空間イメージ (赤坂インターシティAIR)
(出典：赤坂インターシティAIR HP)



ゆるやかに交わる多機能交流型賃貸住宅
(Well-Blend十条) (出典：株式会社リビタ)

方針図(方針図(駅前空間ゾーニングイメージ))

駅前空間ゾーニングイメージ

生田緑地の玄関口にふさわしい駅前空間

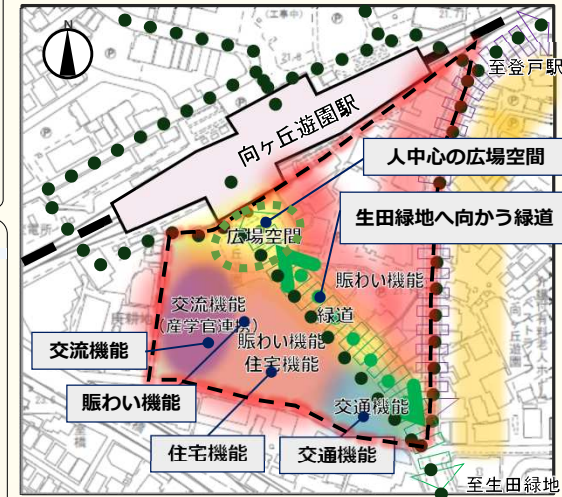
- 【人中心の広場空間】
みどりを感じる広場を整備し、地域の人々や来街者の交流や活動を創出
- 【生田緑地へ向かう緑道】
期待感を高める緑の連続性と、沿道商業と一体感のある歩行空間の創出

まちの魅力と活気を高める多様な都市機能の誘導

- 【交流機能】
地域に関わる多様な主体が集う広場空間と連携した交流機能の配置
- 【賑わい機能】
商業・業務機能、生活利便サービス施設の立地など駅前にあふさわしい賑わい機能の配置
- 【住宅機能】
生活者のライフスタイルやライフステージに応じた多様な住宅機能の配置
- 【交通機能】
利用者の安全性等を踏まえた交通機能の配置

歩行動線を活かした機能連携

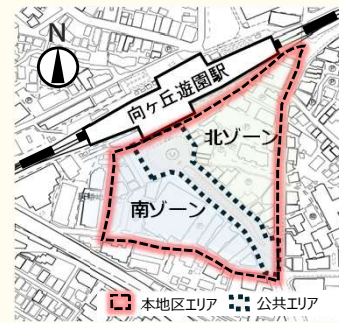
各機能の連携と、駅から交通機能(バス乗場等)までの歩行距離を活かし、その動線に広場や緑道、商業・交流機能等を配置することで、人々の回遊を生み出し、滞在や交流、消費につなげる駅前空間の形成



方針図(駅前空間ゾーニングイメージ)
川崎市発行地形図(令和6(2024)年度)

今後のスケジュール

(1) 区域設定とまちづくりの進め方



- 【区域設定】
段階的にまちづくりを推進するため、南ゾーンと北ゾーンを設定します。
- 【南ゾーン】
○南ゾーンは、官民連携による駅前空間の再編をめざし、建物の共同化による敷地の有効活用を促し、商業・住宅など多様な都市機能の集積を図るとともに、公共エリアと一体的に道路や駅前広場等の都市基盤の整備を進め、生田緑地や大学などの地域資源を活かしたまちづくりを推進します。
- 【北ゾーン】
○北ゾーンは、南ゾーンで進められる駅前空間の形成や地域資源を活かした取組を踏まえ、まちづくり推進に向けた検討を進めます。

(2) スケジュール

	短期 (おおむね5年以内)	中期 (おおむね5～10年)	長期 (10年以上)
駅前広場の再編整備 (公共エリア)	・社会実験の実施	・駅前広場の整備	
南ゾーンのまちづくりの推進	・建物の共同化に向けた取組推進		
北ゾーンのまちづくりの推進	・北ゾーンのまちづくりの推進に向けた検討		